

第6回 NeCST (New Creation of STARS) セミナー実施報告書

テーマ：『子ども中心の社会的養護とは～子どもにとって必要な養育のために 私たちにできることは何か～』
子どもための地域・施設・里親のパートナーシップのあり方を考えるⅢ

- ◇主催：NPO STARS
- ◇共催：公益財団法人 資生堂社会福祉事業財団
- ◇日時：2016年2月19日（金）13:30～ 2月20日 ～12:00
- ◇会場：成田ビューホテル



1、セッションⅠ

第4・5回セミナー(シリーズⅠ・Ⅱ)の振り返りと課題整理を行う。この二回のセミナーのディスカッションより出てきたいくつかの課題や目指す方向性について振り返り、シリーズ最終章として、テーマ実現に向けて具体的な方策を練っていくために四つの議題に絞り、セッションⅡへの動機づけを図っていく。

2、セッションⅡ・Ⅲ ～4つのグループに分かれてそれぞれの議題についてのディスカッション～

A. 現行の制度を最大限活用する

- ・ 現行の制度で活用されていない点は何か
- ・ 制度の何をどのように活用すると、どのような効果が期待できるのか
(子どもにとってどのような利益となりうるのか)
- ・ その期待できる効果は目標にかなうものか

B. 里親制度と里親 ともに社会的養護を担うチームの一員として育成する

- ・ チームの一員となるというのは、どういうことなのか
- ・ チームの一員となることで、どのような成果が期待できるのか。
- ・ チームの一員として育成するための具体的な戦略。
誰がどのようにして進めていくのか等、どのようなことが考えられるのか。



C. 子どもの権利擁護と子どもの利益につながる養育ができる

- ・ 現在の里親制度で子どもの権利擁護と子どもの利益につながる養育ができていないのか。
出来ている点(利点)の評価 また、出来ていない点についての原因探求とそれを課題として解決する方法。(海外研修での学びを活かしてSTARSとして何が出来るのか)

D. 新規里親発掘に関わる、社会全体や社会的養護に携わる人たちへの動機づけを図る

- ・ 新規里親発掘について、社会全体への動機づけを図る必要があるのか。
- ・ 海外研修での経験を活かして具体的な方法を探る。誰がどのようにそれを図っていくのか。

3、セッションⅣ シンポジウム

シンポジスト： セッションⅡ・Ⅲの各グループ代表者

A.38期 高比良氏 B.37期 林氏 C.41期 野村氏 D.38期 片根氏

コーディネーター：NPO キーアセット 渡邊 守氏

4、まとめ

三ヶ年計画のシリーズセミナーの最終を迎え、それに相応しい議論が活発に繰り広げられたセミナーとなりました。

NPO STARSの特性である海外研修での学びを生かし、種別を超えたメンバー各々の知見にて交わされた議論は内容が濃く、その議論による産物を参加者のみに留めておくのではなく、社会的養護の中身の充実を図るために、これらの学びを広めていくことを考えさせるセミナーとなりました。

